

CLEAR GALLERY TOKYO

PRESS RELEASE

UPCOMING EXHIBITION



やわらかな庭で花は根にかえる, 2019
108 x 90 cm, water color on paper

Solo Exhibition

“ We must bring salvation back ”

by Yui Horiuchi / 堀内 結

OPENING RECEPTION : 9月6日 (金)
7pm - 9:30pm

会期 : 2019年9月6日 - 10月5日
会場 : 東京都港区六本木7-18-8岸田ビル2F

Open : 火~金曜日 14-19時、土曜日 11-19時
Close : Sunday, Monday, National holidays

堀内結は、多様な生き方を体現している女性の姿とともに緑豊かな自然を、インクや水彩を用いた絵画、イラスト作品として展開してきました。近年は、雑誌のイラストからショップやホテルの壁画といった大型作品まで幅広い活動をしています。なかでも、緑の中に行む女性の後ろ姿を描いた水彩画シリーズ『FROM BEHIND』は堀内の主要な作品として継続して描かれてきています。

本シリーズに登場する女性の容姿や場所は様々であり、「彼女たち」の姿には、堀内自身の心に残る風景と死生観が同居しています。本シリーズのきっかけとなったのは、ロンドンの古い墓地の中で外部から忘れ去られたようなうっそうとした緑の中に浮かび上がる友人の後ろ姿でした。堀内はそのイメージを反復するなかで、「彼女たち」の姿は、堀内の身近な亡き女性たちの姿と重なるようになり、彼女たちを偲ぶようなパーソナルな行為としても続けられてきました。

本展『We must bring salvation back (「お互いに救いの心を取り戻そう」)』は、本シリーズで描かれてきた女性だけでなく、その空間に広がる関係性を新たに紡ぎ出すような新作を発表します。タイトルは、制作中にラジオから流れてきたジャクソンファイブの曲『I'll be there』の冒頭の歌詞からきています。20年以上使っているという古いラジオから流れてきた古い曲は、親しみがあるわけでもないのに、遠く離れた異なる世界から送られてきたメッセージのように思えたと言います。とくに、冒頭の歌詞である「We must bring salvation back Where there is love I'll be there」は、まさに本シリーズとも繋がる堀内自身の制作と人生における喪失とそこからの救いや回復が交差するような心情を表しているといえるでしょう。

私たちは日常的に喪失や別れを重ねながら生きていますが、堀内にとってこのシリーズはそれらと対峙する時間であり、それは本人と亡き人々に向けた救いであると同時に「彼女たち」がまだそこに生き続けているということでもあります。匿名の人物や場所を通して、本展では絵葉書や日記の1ページのように、遠く彼方に追いやってしまった記憶を思い返したりするような表現が生み出されます。



いちばん近くにいながら、いちばん遠いところにいる自分
2019
35 x 24 cm, water color on paper

展覧会、作品に関するお問い合わせ : CLEAR GALLERY TOKYO 松崎裕紀 contact@cleargallerytokyo.com 03-3405-8438

CLEAR GALLERY TOKYO
contact@cleargallerytokyo.com

CLEAR GALLERY TOKYO

PRESS RELEASE UPCOMING EXHIBITION

堀内結 Yui Horiuchi
February 5, 1989/ Japanese Artist

堀内結は、東京を拠点に活動するアーティストです。2011年に多摩美術大学の油絵専攻を卒業したのち、現在に至るまで多様な作家活動を展開させてきました。扱うメディアは、主にインクと透明水彩を用いた絵画、イラストの他、刺繍を使った作品も手がけています。堀内自身の死生観が静かに織り込まれたシリーズ、FROM BEHIND は彼女の心の中に浮かび上がる風景を描き出しています。匿名の女性、場所を用いて制作を続ける中、近年は、映画のワンシーンをポートレートの背景として取り込んだ新シリーズにも挑戦しています。また刺繍作品に関しては、使い古しのテーブルクロスやエコバッグなど、いわゆるファウンドオブジェクトにデザインを施してきました。物そのものに内在する記憶や物語と戯れるだけでなく、作品を、身につけたり、持ち運びができるものへと変化させるのです。このような作家活動に加え、現在までに雑誌や各国のファッション、コスメブランドといったクライアントへの作品提供も積極的にを行っています。ANNA MAGAZINE WEB では、"GIRL'S QUOTES" と題した企画を連載中。

経歴 / Education

2011年 多摩美術大学絵画学科油画専攻 卒業
2011 BFA in Oil Painting, Tama Art University

個展 / Solo Exhibitions

2018 "FROM BEHIND" One night pop up show, Yorkhouse Apartment A, Los Angeles, USA
2016 "FROM BEHIND -For Her-", AOSANDO ART FAIR, JAMIN PUECH, 東京
2015 "FROM BEHIND -For Her-", OPEN LETTER, 東京
2014 "Tender Mountain -Mt. Shirane-", 101 gallery, 東京
2011 "TAKE MORE TIME", 啓祐堂ギャラリー, 東京

グループ展 (selected)

2019 "The Bee's show", The bee's Knees, 清澄白河, 東京
2018 "ILLUSTRATION WAVE vol.1", 3331 アーツ千代田, 東京
"SAKE TO ART", TAMBOURINE GALLERY & 101 GALLERY, 東京
2017 "YCAM 爆音映画祭 2017", 山口情報芸術センター, 山口市, 山口県
"TOKYO ART BAZAAR vol.2", The Works, 中目黒, 東京
"JAPAN ART MARKET -LIVING WITH ART-", 伊勢丹クアラルンプール, クアラルンプール, マレーシア
"VOILLD GALLERY & SHOP", 伊勢丹, 新宿, 東京
"TOKYO ART BAZAAR", The Works, 中目黒, 東京
"木と木と木と", 京都文化博物館別館内 JARFO LUCK, 京都
2016 "シブカル祭<秋>", 渋谷, 東京
"シブカル祭<夏>", PARCO 渋谷 パート1, 渋谷, 東京
"AAA: Alternative Art Action", Open Letter, 渋谷, 東京
"TOKYO ART BOOKAKE FAIR vol.3 2016", The Works, 中目黒, 東京
2015 "キャンパスになったブリッツェル展", ROTARI PARKER, ラフォーレ原宿, 東京
"PAINT50 Vol.3", PI Gallery, 名古屋
"トーキョーアートシブカケフェア", パルコミュージアム, 東京
"渋谷カル祭", パルコミュージアム, 東京
"Art Cards to Connect", Tama Art University NY Club, ニューヨーク, アメリカ

プロジェクト / Projects

2018 ホリデーイベント似顔絵制作 x キービジュアル制作, "American Eagle Outfitters", 表参道, 東京
新商品発売イベント壁画制作 "Balloon Journey by L'OCCITANE", 六本木, 東京
ポッドホテル壁画, The Millennials Shibuya, 渋谷, 東京
2017 クリスマスディスプレイ, H BEAUTY & YOUTH, 表参道, 東京

レジデンス / Residencies

2019 小海町アーティストレジデンス, 小海町, 長野
2018 Tropical Art Institute, セブ, フィリピン

パフォーマンス / Performances

2009 "Live Sewing", WOMB Shibuya, 東京
"Live Sewing", AIR web, 東京
"Live Sewing", WOMB Shibuya, 東京